



高村 智 議員

質問1 ワクチンの集団接種会場を浜分地区でも開設してはどうか
市長 接種率向上のために人口密集地の実施は効果的と考える

問 現在、新型コロナウイルスの集団接種会場として予定しているのは、北斗市保健センター、北斗市せせらぎ保健センターの2カ所ですが、人口の多い浜分地区にも開設してはと思いますが、考えをお聞かせください。

答(市長) 現在、市では市内2カ所の保健センターでの集団接種を予定しているところですが、今後、対象者数の多い64歳以下への接種が主体となっていく上では、接種率向上のために人口密集地域での集団接種の実施は効果的であるとの考えも持っており、実際に接種を担う医療関係者とも十分協議を重ねた中で、開設の有無、時期、会場等について検討してまいりたい。

質問2 若手職員の発想によるPR企画などの考えは
市長 若手職員のアイデアを取り入れ積極的に取り組みたい

問 新型コロナウイルスにより、全国各地では様々なイベントが中止になり、北

斗市でもPR活動が停滞している状況です。

今後、新型コロナウイルスの接種率が高まり、以前のようなPR活動ができたとしても、ホームページの活用方法を構築していくのが重要と考えます。

そこでお聞きします。

- (1)この5年間のホームページの閲覧数について
- (2)この5年間のふるさと納税サイトへの訪問数と納税件数の比率について
- (3)ホームページ内の写真や動画など容量の制限がどのくらいなのか。
- (4)ホームページのさらなる改良と、若手職員の発想によるPR企画などの新たな展開は模索されているのか。

答(市長) (1)閲覧されたページ総数で申し上げますと、平成28年度が173万6千528ページ、平成29年度が155万531ページ、平成30年度が171万3千150ページ、令和元年度が167万6千882ページ、令和2年度が229万7千727ページとなっています。

(2)平成28年度は訪問数が5千190件に対し、納税件数は98件で1.9%、平成29年度は訪問数が3千99件に対し、納税件数は2千232件で72.0%、平成30年度は訪問数が3千461件に対し、納税件数は2千805件で81.1%、令和元年度は訪問数が2千831件に対し、納税件数は4千649件で164.2%、令和2年度は訪問数が3千969件対

し、納税件数は5千599件で141.1%となっています。

(3)市のホームページのデータは外部サーバーで管理されており、このサーバーの容量は40ギガバイト、データをアップロードする際の1ファイル当たりの上限は100メガバイトとなっています。

(4)システムの改良予定はありませんが、機能面では、弱視の方や高齢者向けに「音声読み上げ機能」と「ふりがな機能」を追加する作業を進めています。

また、若い職員のアイデアを取り入れ、SNSの活用や動画による情報発信などを中心としたコンテンツの充実を図り、積極的なPRに取り組んでまいりたい。

問 函館水産高校と大野農業高校の実習製品や作物をふるさと納税に活用し、さらに高校生によるPR動画を作成してはいかがか。

答(企画課長) 春以降、米とリンゴを中心に、ふるさと納税の返礼品に追加するような協議を行っており、その際、ただ商品を載せるだけではなく、ストーリー性を持たせたPRも検討していきたい。

質問3 近年の児童生徒の学力・体力はいかがか
教育長 児童生徒の頑張りなどにより一定の成果があった

問 新型コロナウイルスにより、子どもたちの生活環境や教育環境を今一度見直

す時期になりました。子どもたちの体力の低下と学力に不安を感じている保護者も多くいます。

そこでお聞きします。

- (1)北斗市内の小・中学生の近年の学力と体力に対する教育長の評価をお聞かせください。
- (2)教員の働き方改革による放課後学習サポートや部活動指導など、今後の対応や課題がたくさんあります。

これからのこれらの対応について、対策をお聞かせください。

答(教育長) (1)学力については、北斗市学力向上プロジェクトチームにより、学力下位層の底上げを市全体の目標として取り組んできており、児童生徒一人ひとりの頑張りや教職員及び地域保護者の支援のおかげもあり、一定の成果があったものと評価しています。

体力については、これまで中学生女子の体力に課題がみられたことから、体育の授業にダンスを取り入れ、楽しみながらトレーニングを行うなど工夫した取り組みを進めており、徐々にではありますが向上の方向に進んでいます。

(2)子どもたちへの対応を削減するという考え方はありませんが、新たな視点で取り組むこと、そして学校・家庭・地域がより一層の協力関係を構築していくことが重要であると考えています。